抗インフルエンザ薬　院内フォーミュラリ

監修：感染症内科 前田 光一
2025年2月初版作成、2025年4月第2版改訂：
薬剤部 医薬品情報管理 尾崎 智規
2026年4月第3版改訂

成人

インフルエンザ確定で抗インフルエンザ薬の投与をする場合

重症時

妊婦･授乳婦

非透析かつCcr10以下

ｱﾄﾞﾋｱﾗﾝｽが悪い場合

【第一推奨薬】オセルタミビルカプセル75mg(薬価：108/C)
腎機能により調節必要
30＜Ccr　　：2カプセル(150mg)/分2　5日間
10＜Ccr≦30：1カプセル(75mg)/分1　5日間
透析時　　：1カプセル(75mg)/分1　単回投与
※注意　Ccr10以下の非透析時は使用しない

【第二推奨薬】リレンザ＊(4ﾌﾞﾘｽﾀｰ×5枚)1組(**薬価：2,028/1組**)
1日2回 1回2ﾌﾞﾘｽﾀｰ 5日間

イナビル吸入粉末剤＊
2キット/1回分
(**薬価:1,484.9/キット**)

＊呼吸状態の悪い場合は
吸入薬は使用しない

重症時用量で記載

ラピアクタ点滴静注300mg (薬価:6,197/袋)
※15分以上かけて点滴静注

腎機能により調節必要 ※通常用量は半量
50≦Ccr　　：2袋　(600mg/120mL)
30≦Ccr＜50：0.66袋 (200mg/40mL)
10≦Ccr＜30：0.33袋 (100mg/20mL)
Ccr＜10：0.33袋 (100mg/20mL)
症状に応じ、0.05袋(15mg/3mL)連日反復投与
透析時　　：0.33袋 (100mg/20mL)
症状に応じ、透析日のみ透析2時間後に同量反復投与

症状に応じ
連日同量反復投与可

吸入できない場合

リレンザ＊(4ブリスター×5枚)
1組　　1日2回 1回2ﾌﾞﾘｽﾀｰ

参考：サンフォード感染症治療ガイド2024、日本透析医会・日本透析医学会ガイドライン、各薬剤添付文書
日本フォーミュラリ学会 モデルフォーミュラリ委員会 インフルエンザ治療薬フォーミュラリ(Ver.3.0)解説書

2025.2.3 奈良県総合医療センター 薬事委員会

抗インフルエンザ薬　院内フォーミュラリ

監修：小児科 大仲 雅之
2025年2月初版作成、2025年4月第2版改訂：
薬剤部 医薬品情報管理 尾崎 智規
2026年4月第3版改訂

小児

インフルエンザ確定で抗インフルエンザ薬の投与をする場合

ルート確保時

ラピアクタ点滴静注液バイアル150mg
(**薬価:3,182/瓶**)
ラピアクタ点滴静注液バッグ300mg
(**薬価:6,197/袋**)
1日1回 10mg/kg　**※15分以上かけて点滴静注**

内服薬希望

タミフルドライシロップ3%(**薬価：103/g**)
生後2週～1歳未満：6mg/kg/日　分2　5日間
1歳～15歳未満　　：4mg/kg/日　分2　5日間

オセルタミビルカプセル75mg (**薬価：108/C**)
37.5kg以上の小児：2カプセル(150mg)/分2　5日間

吸入薬希望

吸入できるか確認して
イナビル吸入粉末剤(**薬価:1,484.9/キット**)
10歳以上　2キット/1回分
10歳未満　1キット/1回分
※単回投与
※乳製品アレルギーの場合は慎重投与

参考：サンフォード感染症治療ガイド2024、各薬剤添付文書
日本フォーミュラリ学会 モデルフォーミュラリ委員会 インフルエンザ治療薬フォーミュラリ(Ver.3.0)解説書

2025.2.3 奈良県総合医療センター 薬事委員会

抗インフルエンザ薬　院内フォーミュラリ(参考資料)

2025年2月初版作成 2025年4月第2版改訂：薬剤部 医薬品情報管理 尾崎 智規
2026年4月第3版改訂

推奨		第一推奨薬		第二推奨薬	オプション	重症例
薬品名		オセルタミビルカプセル75mg タミフルドライシロップ3%	ゾフルーザ錠	リレンザ	イナビル吸入粉末剤20mg	ラピアクタ点滴静注液バッグ300mg ラピアクタ点滴静注液バイアル150mg
一般名		オセルタミビル	バロキサビル マルボキシル	ザナミビル	ラニナミビルオクタン酸エステル	ペラミビル
採用		院内・院外	院外	院内・院外	院内・院外	院内
薬価		ｶﾌﾟｾﾙ：108/C ﾄﾞﾗｲｼﾛｯﾌﾟ：103/g	10mg：1,535.4/錠 20mg：2,438.8/錠	2,028/1組(20ﾌﾞﾘｽﾀｰ)	1,484.9/キット	300mgﾊﾞｯｸﾞ：6,197/袋 150mgﾊﾞｲｱﾙ：3,182/瓶
特徴		・入院が必要な重症例を始め、最も多くの使用実績あり ・最も安価 ・妊婦・授乳婦への使用経験も多い ・ドライシロップ製剤がある	・低感受性の報告あり、薬価高額 ・院内採用なし	・症状緩和までの時間が短い ・耐性の報告が殆どない ・B型インウルエンザには効果が高いとする報告あり ・吸入薬であるため、吸入困難な患者には推奨されない ・添加物に乳糖水和物を含む	・確実な吸入ができれば1回の吸入で治療できる ・海外報告ではプラセボとの比較試験で有効性が得られなかったとして海外では発売中止となった ・吸入薬であるため、吸入困難な患者には推奨されない ・添加物に乳糖水和物を含む	・唯一の点滴静注製剤であり、重症例への使用が推奨される
投与量	成人	2カプセル 分2　5日間	【12歳以上】 80kg未満：20mg2錠 分1 80kg以上：20mg4錠 分1 【12歳未満】 10kg以上20kg未満：10mg1錠 分1 20kg以上40kg未満：20mg1錠 分1 40kg以上：20mg2錠 分1 ※全て単回投与	1日2回 1回2吸入(2ブリスター) 5日間 (計20ブリスター)	【10歳以上】 1日1回 1回4吸入(2キット) 【10歳未満】 1日1回 1回2吸入(1キット) ※全て単回投与	600mgを15分以上かけて単回点滴静注 ※重症時用量で記載
	小児	【生後2週～1歳未満】 6mg/kg/日 分2　5日間 【1～15歳未満】 4mg/kg/日 分2　5日間 【37.5kg以上の小児】 2カプセル 分2　5日間				10mg/kgを15分以上かけて単回点滴静注
腎機能障害時の投与量		10＜Ccr≦30：1カプセル 分1 5日間 透析時：1カプセル 分1 単回投与	減量不要	減量不要	減量不要	30≦Ccr＜50：200mg 10≦Ccr＜30：100mg Ccr＜10：100mg 症状に応じ、15mgを連日反復投与 透析時：100mg 症状に応じ、透析日のみ透析2時間後に同量反復投与 ※重症時用量で記載
妊婦 授乳婦		○ ○	× ×	○ ○	△ ○	△ ○
予防投与 ※自己負担	成人	1カプセル 分1　7～10日間 10＜Ccr≦30：1カプセル 分1 隔日投与 透析時：初回1カプセル、2回透析後1カプセル	治療量と同様 ※10mgには適応無し ※20kg未満の小児には投与不可	1日1回 1回2吸入(2ブリスター) 10日間 (計20ブリスター)	【10歳以上】 1日1回 1回4吸入(2キット)　単回 or 1日1回 1回2吸入2日間(計2キット) 【10歳未満】 1日1回 1回2吸入(1キット)　単回	―
	小児	2mg/kg/日 分1　10日間 ※1歳未満の患児は適応外				

参考：サンフォード感染症ガイド2024、日本透析医会・日本透析医学会ガイドライン、各薬剤添付文書、日本フォーミュラリ学会 モデルフォーミュラリ委員会 インフルエンザ治療薬フォーミュラリ(Ver.3.0)解説書